

## A.D. 1 ~ 500 年

## A.D. 500 ~ 1,000 年

欧米

- **プリニウス(23~79)**  
古代ローマの博物誌家。大規模な自然誌「博物誌」全37巻を著す。
- **皇帝ネロ(37~68)**  
古代ローマ皇帝。バラ好きで有名。バラの香油を身体に塗ったりしていた。
- **ディオスコリデス(40~90)**  
古代ローマの医学者。軍医。「薬物誌(マテリア・メディカ)」を著し、その複写本「ウィーン写本」は有名。
- **ガレノス(129頃~199)**  
古代ローマの医学者。コールドクリーム製剤法の創始者。動物の解剖は行ったが、人体の解剖は行わなかった。

- **サレルノ医科大学(10世紀)**  
イタリアの港町サレルノは、ヒポクラテスの町とよばれるほど医学で有名だった。ここで使用された「サレルノ養生訓」は、ヨーロッパ全土にもたらされた。1140年、シチリア王によって医師の国家免許ともいえる制度がはじめられ、医師開業に制限が加えられるようになった。

西・中央・南アジア

- **「新約聖書」の逸話**  
イエス・キリスト誕生の際に東方の三賢人が黄金、乳香(フランキンセンス)、没薬(ミルラ)を捧げたと書かれてる。乳香と没薬は「神の薬」を意味する。

- **イブン・シーナー(980~1037)**  
アラビアの哲学者・医学者。ラテン名でAvicennaアヴィセンナ、アヴィケンナ、アウィケンナとも呼ばれる。水蒸気蒸留法により芳香蒸留水を製造し医学に応用。「医学典範(カノン)」を著す。17世紀頃まで西欧の医科大学の教科書に使われた。

東アジア(中国・日本)

- **「神農本草経(しんのうほんぞうきょう)」(2~3世紀)**  
東洋の薬草学書。中国では薬物について書かれた本を本草書という。
- **「神農本草経集注(しんのうほんぞうきょうしゅちゅう)」**  
陶弘景(456~536)が「神農本草経」を再編し、今日に伝えられている。